



2003 年春の交通安全運動期間内 JATMA 「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 片岡善雄)は、都道府県警察・運輸支局、日本道路公団、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2003 年春の交通安全運動期間内(5 月 11 日~20 日までの 10 日間)に全国で 8 回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表致します。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)392 台、一般道路 36 台の合計 428 台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び前年対比は、別表 1~3 に示しました。

1. タイヤの整備不良は 14.7%

タイヤ点検の結果、表 - 1 の通り、点検車両 428 台のうち、タイヤに整備不良があった車両は 63 台、不良率 14.7%となっており、前回結果に比べ 1.4 ポイントの増加となっています。

なお、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は 14.0%で 2.9 ポイントの増加、一般道路は 22.2%で 8.0 ポイントの増加という結果となっています。

表 - 1 タイヤ点検の概況

項目	年			参考(2002年)		
	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数(回)	7	1	8	8	13	21
点検車両A(台)	392	36	428	558	1,346	1,904
タイヤ整備不良車両B(台)	55	8	63	62	191	253
不良率 B/A(%)	14.0	22.2	14.7	11.1	14.2	13.3
対前年増減	2.9	8.0	1.4	-	-	-

2. 不良項目別ワースト 1 位は「空気圧不適正」

タイヤの整備状況を項目別にみると表 - 2 の通り、不良率 1 位は「空気圧不適正」で 6.5%、次いで「タイヤ溝不足」4.0%、「偏摩耗」2.6%となっております。

不良率を前回結果と比較すると、「空気圧不適正」は3.0ポイントの増加、「タイヤ溝不足」は0.4ポイントの減少、「偏摩耗」は1.4ポイントの減少となっております。

また、道路別でみた不良率は前回結果に比べ、高速道路では「タイヤ溝不足」、「偏摩耗」、「釘・異物踏み」が減少し他の項目は増加、一般道路では「偏摩耗」、「釘・異物踏み」、「空気圧不適正」が減少し他の項目は増加しています。

トータルでみると、「外傷」、「空気圧不適正」が増加し他の項目は減少しています。

表 - 2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

項目	年 区分	2003年						対前年増減		
		高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
		件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足		13	3.3	4	11.1	17	4.0	-0.5	6.4	-0.4
偏摩耗		10	2.6	1	2.8	11	2.6	-0.6	-1.5	-1.4
外 傷		1	0.3	1	2.8	2	0.5	0.3	2.4	0.2
釘・異物踏み		1	0.3	0	0.0	1	0.2	-0.1	-0.3	-0.1
空気圧不適正		28	7.1	0	0.0	28	6.5	2.8	-3.2	3.0
そ の 他		7	1.8	2	5.6	9	2.1	1.3	1.0	-1.3
計		60	-	8	-	68	-	-	-	-

注) 1 . 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、整備不良車両台数と整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2 . 今回の結果で空気圧過多は無かった為、空気圧不適正 = 空気圧不足となる。

3. 車両グループ別ワースト1位は「貨物車」

タイヤの整備状況を車両グループ別にみると、表 - 3の通り、不良率ワースト1位は「貨物車」19.4% (3.0ポイントの増加) 次いで「乗用車」13.6% (1.6ポイントの増加) となっており、「特種車」については整備不良の車両はありませんでした。

「貨物車」グループのタイヤ整備状況は、小型貨物 26.2% (12.2ポイントの増加) 次いで軽 16.7% (6.7ポイントの減少) となっています。

表 - 3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種	点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対前年増減	
乗用車	普通乗合(2)	12	1	8.3	-25.0
	普通乗用(3)	143	19	13.3	3.1
	小型乗用(5.7)	142	18	12.7	0.9
	軽(8.50)	19	5	26.3	10.5
	小 計	316	43	13.6	1.6
貨物車	普通貨物(1)	36	3	8.3	-3.5
	小型貨物(4)	61	16	26.2	12.2
	軽(6.40)	6	1	16.7	-6.7
	小 計	103	20	19.4	3.0
	特種(8)	9	0	0.0	-6.5
	合 計	428	63	14.7	1.4

注) () 内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車両グループ別・項目別ワースト1位は乗用車:「空気圧不適正」、貨物車:「タイヤ溝不足」、「空気圧不適正」

車両グループ別・項目別のワースト1位は、表-4の通り乗用車グループでは「空気圧不適正」で6.6%、貨物車グループでは「タイヤ溝不足」、「空気圧不適正」が同率で6.8%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	普通乗用(3)	4	2.8	1	0.7	0	0.0	0	0.0	9	6.3	5	3.5	19
	小型乗用(5.7)	3	2.1	4	2.8	1	0.7	0	0.0	10	7.0	2	1.4	20
	軽(8.50)	2	10.5	1	5.3	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	5
	小計	10	3.2	6	1.9	1	0.3	0	0.0	21	6.6	7	2.2	45
貨物車	普通貨物(1)	2	5.6	1	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
	小型貨物(4)	5	8.2	4	6.6	1	1.6	1	1.6	7	11.5	1	1.6	19
	軽(6.40)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	1
	小計	7	6.8	5	4.9	1	1.0	1	1.0	7	6.8	2	1.9	23
	特種(8)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	合計	17	4.0	11	2.6	2	0.5	1	0.2	28	6.5	9	2.1	68

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、整備不良車両台数と整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 今回の結果で空気圧過多は無かった為、空気圧不適正 = 空気圧不足となる。

〔まとめ〕

今回の点検結果をみるとタイヤ整備不良率の上位項目は依然として「空気圧不適正(空気圧不足)」「タイヤ溝不足」「偏摩耗」で形成される傾向にあるため、当社としては、今後もタイヤ点検の実施、高速道路架橋への「タイヤの空気圧不足は危険です!」横断幕の掲出、リーフレット配布等、安全啓発活動を行っていくこととしています。

以上

本件に関するお問い合わせ先

技術部 検査事故防担当 大高、時田

TEL:03-3435-9092

1. 2003年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目		年別		2002年(春)						2003年(春)											
		道路別		高速道路		一般道路		計		高速道路		一般道路		計							
										対前年増減		対前年増減		対前年増減							
点検回数(回)		8		13		21		7		-1		1		-12		8		-13			
点検車両A(台)		558		1,346		1,904		392		-166		36		-1,310		428		-1,476			
タイヤ整備不良車両B(台)		62		191		253		55		-7		8		-183		63		-190			
不良率B/A(%)		11.1		14.2		13.3		14.0		2.9		22.2		8.0		14.7		1.4			
件数・不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率	
										%		増減		%		増減		%		増減	
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	21	3.8	63	4.7	84	4.4	13	3.3	-0.5	4	11.1	6.4	17	4.0	-0.4					
	偏摩耗	18	3.2	58	4.3	76	4.0	10	2.6	-0.6	1	2.8	-1.5	11	2.6	-1.4					
	外傷(コードに達するもの)	0	0.0	5	0.4	5	0.3	1	0.3	0.3	1	2.8	2.4	2	0.5	0.2					
	釘・異物踏み	2	0.4	4	0.3	6	0.3	1	0.3	-0.1	0	0.0	-0.3	1	0.2	-0.1					
	空気圧不適正	24	4.3	43	3.2	67	3.5	28	7.1	2.8	0	0.0	-3.2	28	6.5	3.0					
	その他	3	0.5	62	4.6	65	3.4	7	1.8	1.3	2	5.6	1.0	9	2.1	-1.3					
	計	68	-	235	-	303	-	60	-	-	8	-	-	68	-	-					

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 今回の結果で空気圧過多は無かった為、空気圧不適正=空気圧不足となる。

2.2003年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計
	車種No.					タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		
	件数	不良率				件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	12	1	8.3	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		普通乗用(3)	138	17	12.3	3	2.2	1	0.7	0	0.0	0	0.0	9	6.5	4	2.9	17
		小型乗用(5.7)	137	17	12.4	3	2.2	3	2.2	1	0.7	0	0.0	10	7.3	2	1.5	19
		軽(8.50)	14	5	35.7	2	14.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0	2	14.3	0	0.0	5
		計	301	40	13.3	9	3.0	5	1.7	1	0.3	0	0.0	21	7.0	6	2.0	42
	貨物車	普通貨物(1)	20	1	5.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		小型貨物(4)	58	14	24.1	4	6.9	4	6.9	0	0.0	1	1.7	7	12.1	1	1.7	17
		軽(6.40)	5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	83	15	18.1	4	4.8	5	6.0	0	0.0	1	1.2	7	8.4	1	1.2	18
	7回	特種(8)	8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		392	55	14.0	13	3.3	10	2.6	1	0.3	1	0.3	28	7.1	7	1.8	60	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	5	2	40.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2
		小型乗用(5.7)	5	1	20.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		軽(8.50)	5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	15	3	20.0	1	6.7	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7	3
	貨物車	普通貨物(1)	16	2	12.5	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
		小型貨物(4)	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
		軽(6.40)	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
		計	20	5	25.0	3	15.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	5
	1回	特種(8)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		36	8	22.2	4	11.1	1	2.8	1	2.8	0	0.0	0	0.0	2	5.6	8	
合計	乗用車	普通乗合(2)	12	1	8.3	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		普通乗用(3)	143	19	13.3	4	2.8	1	0.7	0	0.0	0	0.0	9	6.3	5	3.5	19
		小型乗用(5.7)	142	18	12.7	3	2.1	4	2.8	1	0.7	0	0.0	10	7.0	2	1.4	20
		軽(8.50)	19	5	26.3	2	10.5	1	5.3	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	5
		計	316	43	13.6	10	3.2	6	1.9	1	0.3	0	0.0	21	6.6	7	2.2	45
	貨物車	普通貨物(1)	36	3	8.3	2	5.6	1	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
		小型貨物(4)	61	16	26.2	5	8.2	4	6.6	1	1.6	1	1.6	7	11.5	1	1.6	19
		軽(6.40)	6	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	1
		計	103	20	19.4	7	6.8	5	4.9	1	1.0	1	1.0	7	6.8	2	1.9	23
	8回	特種(8)	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		428	63	14.7	17	4.0	11	2.6	2	0.5	1	0.2	28	6.5	9	2.1	68	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 今回の結果で空気圧過多は無かった為、空気圧不適正=空気圧不足となる。

3.2002年、2003年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良			タイヤ整備不良の項目内訳																		
					タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他			
		02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	9.5	12.3	2.8	3.2	2.2	-1.0	0.6	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	6.5	0.8	0.0	2.9	2.9
		小型乗用(5.7)	13.0	12.4	-0.6	2.6	2.2	-0.4	4.7	2.2	-2.5	0.0	0.7	0.7	0.5	0.0	-0.5	4.7	7.3	2.6	1.6	1.5	-0.1
		軽(8.50)	20.0	35.7	15.7	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	14.3	-5.7	0.0	0.0	0.0
		計	11.6	13.3	1.7	2.8	3.0	0.2	2.8	1.7	-1.1	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	-0.3	5.5	7.0	1.5	0.8	2.0	1.2
	貨物車	普通貨物(1)	9.0	5.0	-4.0	7.5	0.0	-7.5	4.5	5.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	-1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		小型貨物(4)	11.3	24.1	12.8	4.1	6.9	2.8	4.1	6.9	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	0.7	3.1	12.1	9.0	0.0	1.7	1.7
		軽(6.40)	14.3	0.0	-14.3	9.5	0.0	-9.5	4.8	0.0	-4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	10.8	18.1	7.3	5.9	4.8	-1.1	4.3	6.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.5	1.2	0.7	2.2	8.4	6.2	0.0	1.2	1.2
	特種(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	11.1	14.0	2.9	3.8	3.3	-0.5	3.2	2.6	-0.6	0.0	0.3	0.3	0.4	0.3	-0.1	4.3	7.1	2.8	0.5	1.8	1.3		
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	10.6	40.0	29.4	2.4	20.0	17.6	3.7	0.0	-3.7	0.4	0.0	-0.4	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	-2.4	4.1	20.0	15.9
		小型乗用(5.7)	11.3	20.0	8.7	3.0	0.0	-3.0	3.6	20.0	16.4	0.2	0.0	-0.2	0.2	0.0	-0.2	2.4	0.0	-2.4	4.3	0.0	-4.3
		軽(8.50)	15.6	0.0	-15.6	2.1	0.0	-2.1	3.1	0.0	-3.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	-1.0	5.7	0.0	-5.7	6.8	0.0	-6.8
		計	12.1	20.0	7.9	2.6	6.7	4.1	3.6	6.7	3.1	0.2	0.0	-0.2	0.3	0.0	-0.3	3.1	0.0	-3.1	4.7	6.7	2.0
	貨物車	普通貨物(1)	14.5	12.5	-2.0	8.7	12.5	3.8	4.3	0.0	-4.3	1.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	-2.9
		小型貨物(4)	15.4	66.7	51.3	8.5	33.3	24.8	4.3	0.0	-4.3	0.5	33.3	32.8	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	-1.6	3.2	0.0	-3.2
		軽(6.40)	24.5	100.0	75.5	9.8	0.0	-9.8	8.6	0.0	-8.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	-0.6	7.4	0.0	-7.4	6.1	100.0	93.9
		計	18.8	25.0	6.2	9.0	15.0	6.0	6.0	0.0	-6.0	0.5	5.0	4.5	0.2	0.0	-0.2	3.6	0.0	-3.6	4.3	5.0	0.7
	特種(8)	10.5	0.0	-10.5	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	-5.3	
合計	14.2	22.2	8.0	4.7	11.1	6.4	4.3	2.8	-1.5	0.4	2.8	2.4	0.3	0.0	-0.3	3.2	0.0	-3.2	4.6	5.6	1.0		
合計	乗用車	普通乗合(2)	33.3	8.3	-25.0	0.0	8.3	8.3	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	10.2	13.3	3.1	2.7	2.8	0.1	2.5	0.7	-1.8	0.2	0.0	-0.2	0.0	0.0	0.0	3.7	6.3	2.6	2.5	3.5	1.0
		小型乗用(5.7)	11.8	12.7	0.9	2.9	2.1	-0.8	3.9	2.8	-1.1	0.2	0.7	0.5	0.3	0.0	-0.3	3.0	7.0	4.0	3.5	1.4	-2.1
		軽(8.50)	15.8	26.3	10.5	2.0	10.5	8.5	3.0	5.3	2.3	0.0	0.0	1.0	0.0	-1.0	6.4	10.5	4.1	6.4	0.0	-6.4	
		計	12.0	13.6	1.6	2.7	3.2	0.5	3.4	1.9	-1.5	0.2	0.3	0.1	0.3	0.0	-0.3	3.8	6.6	2.8	3.6	2.2	-1.4
	貨物車	普通貨物(1)	11.8	8.3	-3.5	8.1	5.6	-2.5	4.4	2.8	-1.6	0.7	0.0	-0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	-0.7	1.5	0.0	-1.5
		小型貨物(4)	14.0	26.2	12.2	7.0	8.2	1.2	4.2	6.6	2.4	0.4	1.6	1.2	0.4	1.6	1.2	2.1	11.5	9.4	2.1	1.6	-0.5
		軽(6.40)	23.4	16.7	-6.7	9.8	0.0	-9.8	8.2	0.0	-8.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	-0.5	6.5	0.0	-6.5	5.4	16.7	11.3
		計	16.4	19.4	3.0	8.1	6.8	-1.3	5.5	4.9	-0.6	0.3	1.0	0.7	0.3	1.0	0.7	3.1	6.8	3.7	3.0	1.9	-1.1
	特種(8)	6.5	0.0	-6.5	3.2	0.0	-3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	-3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	-3.2	
合計	13.3	14.7	1.4	4.4	4.0	-0.4	4.0	2.6	-1.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	-0.1	3.5	6.5	3.0	3.4	2.1	-1.3		

注)1.1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2.不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3.高速道路とは自動車専用道路を含む。